

第三セクター等に対する改善案（要旨）

1 評価・検証団体

公益財団法人 周南市体育協会

2 評価・検証の基本的な考え方

第三セクター等は地方公共団体等が進めるまちづくりにおいて重要な役割を担っている一方、経営が著しく悪化した場合、地方公共団体等の財政に重大な影響を及ぼすだけでなく、市民サービスの低下を招く恐れがあります。

こうしたことから、主に「経営健全化」と「安定的な公共サービス提供」の視点から、評価・検証を実施しました。

3 経営改革案の提案

○体育協会は、スポーツ振興面において市政における一翼を担っており、市と連携し、または市を補完する形の中で施策・事業を進めていくことが求められています。

こうしたことから、まずは体育協会と市との間において、改めてお互いの役割分担、体育協会が果たさなければならない役割を明確にすることを提案します。

○体育協会の業務量の大半を占めている指定管理業務について、市と協議を行い、精査することを提案します。

- ・ 体育施設の直営化への精査
- ・ スポーツ施設の管理と公園の管理の切離の検討

○必要人員を精査し、早急に計画的な若い職員の採用・補充を図っていくことで、組織の新陳代謝と持続性をもたらすとともに、組織の硬直化と固定化を解消し、また、職員のモチベーションの維持・向上につなげることを提案します。

4 新たな提案

「(公財) 周南市ふるさと振興財団」、「(公財) 周南市体育協会」、「(公財) 周南市文化振興財団」の3つの団体において、改めて現状を踏まえ、財団が果たすべき役割を検証し、認識することが必要であるとともに、周南市のまちづくりを補完するために設立された3つの公益財団法人が連携し、将来を見据え、課題解決に当たることを提案します。

3つの公益財団法人が統合し、一つの組織となることで、スケールメリットを生かして、公益財団法人に係わる事務や指定管理業務など共通する事務を一つのセクションで行うなど、無駄を省き新たな展開につなげることにより、「共創」による新たな価値の創造や新しいサービスの提供も期待できますが、統合ありきではなく、お互いの胸襟を開いて検討のテーブルにつかれることを提案します。